

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第9回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）今後の地域協議会での取組事項について

・その他（公開）

3 開催日時

令和7年1月16日（木）午後7時00分から午後8時28分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：天野委員、押見委員、金澤委員、小山委員、佐野委員、新保委員、竹田委員、土屋会長、俵木副会長、柳澤委員、横田委員

（14名中11名出席）

・事務局：大潟区総合事務所 池田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、新保市民生活・福祉グループ長、丸山教育・文化グループ長、風間班長、水澤主任

8 発言の内容（要旨）

【池田次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【土屋会長】

・挨拶

- ① 令和7年上越市新年祝賀会に参加、関係者に挨拶をしたことを報告
- ② 令和7年大潟区新年祝賀会（主催：大潟区地域協議会、大潟区町内会長協議会、まちづくり大潟）に参加、関係者に挨拶をしたこと及び会の収支決算書（まちづくり大潟作成）概要を報告

・会議録の確認：竹田委員に依頼

【土屋会長】

協議事項（1）今後の地域協議会での取組事項についてに入る。前回に引き続きグループ協議をして、その後に発表していただき全員で確認する流れとしたい。ここで皆さんに確認する。前回から「地域の魅力の向上」と「まちづくり」について協議することとなった。この2つについて自主的な審議事項として正式に取り組むこととしてよいか。（一同了承）

では、この2つを大潟区地域協議会の自主的な審議事項として決定する。以前、地域政策課が作成した「地域自治の理想的な姿及び取組の方向性」という資料の「理想的な姿」、「現状と課題」、「取組の方向性」、「方策」というまとめ方が分かりやすく思っている。この4つの項目に沿ってまとめていただきたい。進め方、進行役、発表者はそれぞれのグループに任せる。事務局から模造紙、ふせん用紙、サインペンを用意してもらっているので活用いただきたい。協議の中で、こういった団体から話を聞きたいということが出てきた場合は記録しておいていただきたい。

～グループ協議～

【土屋会長】

では、まちづくり班から発表を願う。

【竹田委員】

「理想的な姿」、「現状と課題」、「取組の方向性」、「方策」の流れに沿って考えた。交通、子育てから青少年に向けての居場所づくり、人口対策の3つくらいのテーマで意見を出した。交通に関しては対象を高齢者向けということで話を進めた。柿崎区や三和区で交通に関する取り組みをしているので、話を聞いて調べてみるといいのではないかと意見が出ている。交通に関しては、免許返納を目下の課題として考えている。免許

返納をするために路線バスは使いにくいいため、それ以外の方法を考えた。ハイエースなどの大型の自動車を利用し、高齢者向けにまずは買い物などを中心に考えてみた。スーパーに行く車を1週間に1回ずつ、各エリアを3つくらいに分けて運行してみてはどうかとなった。子どもたちの居場所づくりについては、対象を小学生くらいに絞って考えている。手が掛かる子たちや、家に親がいないが児童クラブには馴染めない子など、居場所のない子がいることが課題である。上越市内では「子どもの家」を開設しているところもあるようである。子どもが自分たちで居て安全であること、児童クラブだけに頼りすぎないような場所を考えることが必要である。人口対策については、1万人を切っている人口をもっと増やしたいと考えた。まちづくりのランドデザインがはっきりしておらず、どのような町にしていきたいかが分かりにくいということであったので、対策としてランドデザインを考えてもらえたらいいのではないかという意見が出た。その中で空き家の活用をしていくといいのではないか。例えば、空き家を店舗にする、空き家に入居しやすい状況を作っていくのはどうかという話が出ていた。以上である。

【土屋会長】

質問はあるか。

【佐野委員】

交通の中の買い物についてだが、連れていくのがいいのか、キッチンバスなどに来てもらって買い物をするのがいいのかを検討したか。

【竹田委員】

キッチンバスについては話がでなかった。

【佐野委員】

スーパー等行ってからもかなり歩く。歩くのが大変な人を入口で降ろして「好きに買い物をしてください」と言っても大変である。それなりに動ける人であれば自分で行ってもらえばいいと思う。そこはどちらがいいのかということもあるし、利用する側のニーズがどうなのかということもある。

【横田委員】

どちらもあるといい。

【佐野委員】

ただ、どちらにしても手が掛かる。車の手配や人数調整、デマンドなのかタクシー方

式なのかなどいろいろな形がある。

【横田委員】

柿崎区や三和区に調査に行こうと考えている。

【佐野委員】

それはいいと思う。

【土屋会長】

グループで話をしている、こういったアイデアを上手くまとめて、6月くらいに地域の方たちに提示して意見をいただきながら、その先で具体的に市に提言を出すとか、もっと専門家と詰めていくなどの方策を取りたい。2回目のグループ協議としては、ある程度何を調べればいいのかまで見えてきた。子育て、青少年、居場所等に関して、合併前上越では行っているが、大潟区では子どもたちがだんだんと地区公民館などを使わなくなっている。地域の実情を知らないと提言もできないのもう少し調べて協議したい。人口対策について、上越市創造行政研究所は数字を出してくれているが、住む場所があるのかなどを建築住宅課等に確認するなどもしなければならない。

【俵木副会長】

地域の魅力の向上では、前回出た意見から重複した部分をまとめて、色分けをして協議した。まちづくり班と違い、すべての意見について「理想的な姿」、「現状と課題」、「取組の方向性」、「方策」のステップを踏んでいくと大変なことになってしまうので、発信方法やPR方法を2点ずつに絞ってやっていくことにした。ただ項目が多いため、細かい内容についてはいろいろと出てきているが、最終的にどれに絞るかはまだ決まっていない。宿題としており、次回までにお互い考えてきてまとめていきたい。

【土屋会長】

質問はあるか。

(一同無し)

では、協議事項を終了する。その他に入る。総合事務所から連絡はあるか。

【風間班長】

1月7日付で「地域自治の理想的な姿及び取組の方向性に関するヒアリング・アンケート調査集計結果(速報)」を郵送したのでご確認いただきたい。

【土屋会長】

委員から連絡等がなければ、次回の日程連絡をお願いする。

【池田次長】

2月20日（木）午後7時から令和6年度第10回地域協議会を開催する。会場は、税の申告で大会議室が利用できないため、大潟コミュニティプラザ中会議室2となる。次回も引き続きグループ協議を行うため、そのときには中会議室1も利用できるようにしておく。

【土屋会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線201、216）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。